

総務課からのお知らせ

◎各種手続きのお願い

森林組合は森林所有者による共同利用組織として、組合に出資された森林所有者の方々(組合員)により組織された事業を行っています。
組合員の方を正しく把握するため、組合員の方に変更事項が生じた場合は変更の手続きをお願いしております。

左記の事項に該当する場合は、お手続きをお願いいたします。

- ① 相続加入
組合員の方がお亡くなりになり、別の方が組合員資格を相続される場合
- ② 法廷脱退
組合員の方がお亡くなりになり、組合を脱退する場合
- ③ 各種変更
個人のご住所やお名前の変更、団体の名称や代表者の変更、出資金の増加など

森林組合法の改正により組合員枠の拡大等があります。お手続き等不明な点があれば、総務課までお問い合わせください。

※市役所等に届け出済みであっても、当組合に届出がないと組合員台帳は変更されません。

◎年末年始休業について

令和3年12月29日(水)から令和4年1月3日(月)まで本所・支所共に年末年始休業をいただきます。

購買係からのお知らせ

本年もこの広報に併せ

令和4年度種駒・苗木申込書を同封させていただきました。本年は、昨年度まで好評でたくさん注文を頂いておりました『舞茸マイデル』が取り扱いメーカーの廃業により仕入できなくなりました。注文書に記載されるそれに変わる商品を探してみたのですが、帯に短し襷に流し、掲載する商品がなく困っております。当組合の組合員の方も所属する、入山辺舞茸振興会様にお声掛けいただき、本年度組合分の舞茸椀木を作っていただけることとなりました。

舞茸の椀木は菌がデリケートな為、原木の煮沸消毒・菌が回るまでの温度管理など大変手の係る作業を経て出来上がります。今回商品として提供していただける椀木は、振興会のみならず約20年に渡り、県内外の栽培元を視察するなどして研究を重ねながら作り上げた商品になります。昨年までの『舞茸マイデル』とは発生状況等が若干違うかもしれませんが、原木は当組合よりご購入頂いた地元産の原木を使用し作っていただいた、安心安全な地産地消の舞茸椀木です。ぜひ一度、お試し頂けたらと思います。



舞茸椀木 (3個1組) 3,432円(税込)

人事異動

採用 令和3年10月1日
木俣 隆一(筑北支所技師)
退職 令和3年9月14日
南 貴史(松本支所技師)
令和3年9月30日
菊池 大樹(あづみ支所技師補)

出品量: 6,283㎡ 落札率: 92%
販売量: 5,753㎡ 買い方: 50社

今回の市売りは広葉樹の出品が多く、応札活発な納市となりました。ただ、ひのき柱・土台取り・通し柱は先月よりかなり値を下げました。依然、すぎ・からまつの製材・合板向け丸太の不足は続いており値上がり傾向です。出荷者の皆様には、この一年大変お世話になりました。来年度もよろしく願いいたします。

次年初市 1月18日(火)



第1066回 納市市況表

(令和3年12月14日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター TEL:0263(77)2347 FAX:0263(77)2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	安値(円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	16,000	12,000		○	材不足しています。 価格安定。
	4.0	直	20~28	17,000	13,000		○	
	4.0	直	30上	20,000	14,000		○	
ひのき	3.0	直	20上	33,000	30,000	27,000	△	柱・土台取り・通し柱 全般的に値を下げる。
	4.0	直	18~28	33,000	27,000	25,000	△	
	4.0	直	30上	50,000	27,000	25,000	△	
からまつ	4.0	直	6~13	13,000	8,000	4,000	○	合板向け引き合いあり。 合板・土木向け細物不足。
		直	14~18	12,000	9,000		○	
		直	20上	18,500	13,000		○	
赤松	4.0	曲	14~18	11,500	9,000	4,000	○	土木用材に引き合いあり。
		曲	20~40	14,000	12,000	4,000	○	
		直	20~40	18,000	10,000	4,000	-	
くりきはだなら	2.0~6.0	直	18~38	45,000	30,000	4,000	○	良材に高値、応札活発。
	2.0~4.0	直	34~66	220,000	150,000	12,000	○	
かきうるし	2.8~4.4	直	34~36	54,000	20,000	9,000	○	
	1.0	直	28	210,000			○	
	3.0	直	34	51,000			○	

しくみ 森組 まつもと広域 第27号

発行 令和3年12月22日
松本広域森林組合
〒399-8102
長野県安曇野市
三郷温 4000番地
0263-77-2413
http://www.matsumoto-forest.jp



県産材を使った丸太・杭 各種サイズ販売中!
筑北加工場 0263-64-3300まで



第6回森林再生基金 (農中森力基金) 事業完了しました

松本市四賀地区において昨年度の夏から作業を実施してきました農林中森力基金事業ですが、本年4月に作業を完了したのち、去る11月15日にWEB開催されました『第15回森林組合トップセミナー・森林再生基金事業発表会』にて成果発表を行いました。本来であれば東京の会場で関係者が一堂に会して盛大に開催される予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で昨年に続きオンラインでの開催となりました。全国から採択された9事業の一つとして長野県森林組合連合会と共同で実施した本事業は管内で被害が拡大している松くい虫被害によるアカマツ林の再生を目指して先進的なICT技術を利用した調査を行うことで資源量を調査した後、アカマツを伐採して抵抗性家系アカマツの植栽や広葉樹林化を行い、里山の再生に取り組みました。



化して、管内のバイオマス発電施設に納品し資源の有効活用を行いました。作業前は倒木だらけでまともにも歩くこともままならなかった荒れたアカマツ林が安全面・環境面でも森林としての機能を取り戻しつつあります。今後は本事業の成果を元にして引き続きアカマツ林の再生について取り組んで参ります。



ICT技術続々導入中 【ドローン・GNSS機器】

林業界にもICT(情報通信技術)の波が押し寄せており、数年前には考えもしなかったことが色々とできるようになりつつあります。様々な機器が新しく登場しており、機能面や価格面でも驚くような進化を遂げています。当組合でもICT技術を導入することで省力化を進めているところであり、今回は県の推進する『スマート林業』の後押しもあり、補助金を活用してドローンとGNSS機



器の導入を行いました。

ドローンはDJI社のMavic2Proで高性能カメラを搭載し、上空から山林の様子を撮影するだけではなく、予め設定したルートを飛行させて連続写真を撮り、その写真を元に山林内の立木の本数やおよその樹高を読み取ることもできるので、これまで山林内で行っていたプロット調査に負けない精度で資源量を調査できるようになりました。

GNSSは米国のGPSを始めとする様々な地域の衛星測位システムの相称であり、日本の打ち上げた『みちびき』もこの中に含まれています。このような多地域の衛星の位置情報を利用することで条件によっては数センチの精度で位置を知ることが出来るようになります。今回は松本市にあるビジネス所に導入しました。これまでの衛星情報と機器の組み合わせでは良くても10mほどの誤差が発生してし



長野県林業職員協会 県大会が開催されました

10月19日(火) 上田市の信州上小森林組合を会場に長野県林業職員協会県大会が行われ、当組合からも若手職員を中心に5名が参加しました。

午前中はGNSS(DGPRO)を使った測量を班に分かれて屋外で行い、精度の良さなど体験しました。午後は、室内にて造林補助申請についての手順と資料作成の演習を行いました。組合では今年7月に1台先行して導入していただきましたので、当組合を代表してあづみ支所長が今年度の申請の際にあつた事例を発表させていただきました。この事例では、制度の都合上データが使われることがなかったのですが、使用方法も比較的簡単で、申請に必要なデータの作成等もしやすいことを参加された方々にお伝えしました。

当日は晴天に恵まれ、機器の精度の良さも実際に体験することができ、充実した県大会になりました。



合併当初より緑の雇用新規就業者育成推進事業を利用し、技能職員の育成を進め、本年もこの制度を利用して4月より3名の技能職員が就業しております。現在松本1班の職員として指導員資格をもつ技能職員の育成を進め、

・下刈り・伐採等技術の習得に励んでいます。3名とも様々な職種を経ての林業就業ですが、林業における労働災害の発生率は依然として他の産業に比べ高いこともあり、作業前のミーティングでヒヤリ・ハット事例等の共有や機械のメンテナンスまで、先輩職員ともコミュニケーションを図りながら労働災害防止の安全管理も日々学んでいます。



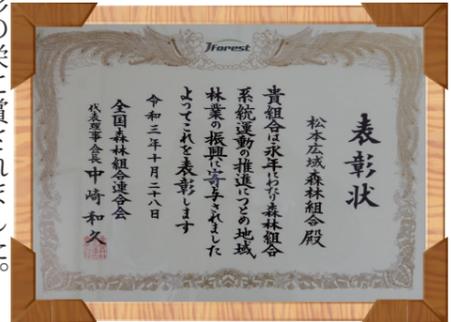
組合では今後この制度を利用し、より安全と高度な技術を身に付けた技能職員の育成を図り、組合員の皆様の森林整備を進めて行きたいと考えています。

緑の雇用研修生頑張っています!!

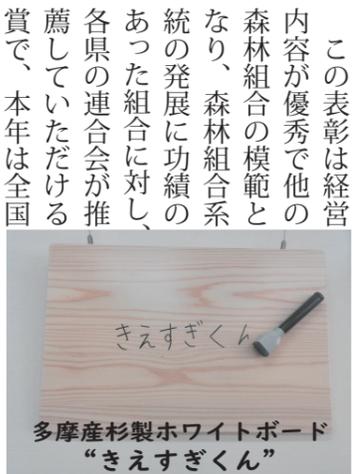


10月28日

(木) ホテルメルパルク東京にて開催されました『第29回全国森林組合大会』に於いて、当組合が全国森林組合連合会会長表彰の栄に賞されました。当日はコロナウイルス感染症の蔓延防止対策により、現地とオンライン併用開催ということで、長野県森林組合連合会を通して、後日表彰状と副賞の多摩産杉製「きえすぎくん」(木製ホワイトボード)が届きました。



この表彰は経営内容が優秀で他の森林組合の模範となり、森林組合系統の発展に功績のあった組合に対し、各県の連合会が推薦していただける賞で、本年は全国613組合中39の森林組合が受賞しています。



優良組合表彰! 全国表彰されました。

これも単衣に組合員の皆様のご協力の賜物であり、あらためて感謝御礼を申し上げます。また次年度も職員一同精進して業務に励んで参ります。

思い入れのあるイベントが一昨年の新型コロナウイルスの大流行により軒並み中止になり2年が経ちました。今年の夏にはワクチン接種も進み、11月に2つのイベントに移動販売車で出店させていただきました。

まず一つ目は、11月3日(水・祝)奈川地区にて、林業資材販売会を開催いたしました。奈川地区では毎年11月に行われる文化祭に出店させていただいたご縁で、今回は新そば祭りに併せて、売店や食堂も併設されているがわ山彩館様を会場にお借りして出店いたしました。



奈川林業資材販売会

2年ぶりなこともあり、こちらも山彩館様の営業時間からスタートする予定で朝早く出かけて行つたのですが、久々の営業準備にもたついていると、顔なじみの組合員さんが一人また一人と来てくださいました。例年ですと、地下足袋や刃物のメーカーの方に来ていただき、直接対面販売ができるのですが、今回はまだコロナウイルスに油断ならない状況下でしたので、地元で営業所のある電動工具のマキタさんをお誘いし



↑各種刃物コーナー

秋のイベントに移動販売車で出店しました!!

た一人と来てくださいました。例年ですと、地下足袋や刃物のメーカーの方に来ていただき、直接対面販売ができるのですが、今回はまだコロナウイルスに油断ならない状況下でしたので、地元で営業所のある電動工具のマキタさんをお誘いし

て、充電式電動工具の展示販売をしていただきました。この日はとても良い秋晴れで紅葉まっさかりの奈川で懐かしい顔ぶれにお会いできてうれしい一日でした。2つ目のイベントは、11月6日(土)安曇野市穂高の林友ハウス工業さんを会場に行われた『あづみの里山市』へお邪魔しました。今回は第6回目でしたが、組合としては初めての参加、安曇野産材をお求めの方で大盛況な会場にとっても驚きました。こちらは、通常の林業資材の他に、一般市民の方に地域の里山整備で使われている道具など見ただけのように、日頃より当組合の購買を利用していただいている清水里山整備協議会のみなさんの道具をお借りして紹介コーナーをつくりました。また、8月の災害で中京圏からの集客に苦戦しているという情報をお聞きした為、奈川地区の物産等もお借りして販売をしました。加工場の材で作ってもらった移動販売車がなかなかの好評で、次年度も機会があればぜひ車両出店したいと思えます。



↑手袋・刃物他コーナー



↑奈川物産応援コーナー

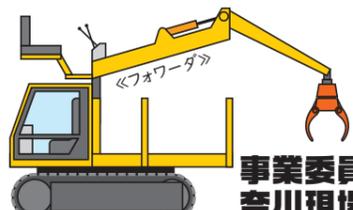
11月12日(金)

事業委員会を行いました。当日は7名の担当理事にご出席を頂き、本所もくりゅう館にて奈川小径木加工施設と林業機械の整備計画について検討致しました。



その後、奈川へ移動し奈川小径木加工施設の視察を行い、組合が運営を委託している奈川小径木加工事業協同組合代表理事の松澤さんより現在の状況について説明を受けました。

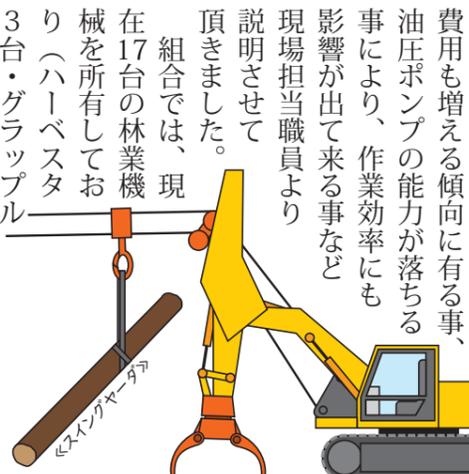
続いて、奈川入山地区にて搬出間伐を実施している現場へ移動し、林業機械の稼働状況を視察しました。今回現場視察を行った入山地区の搬出間伐現場は入山町会に關係のある約30名の所有林を集約し、経営計画を立てて事業を実施しています。今回は55年・60年生のカラマツ林で約7.5ヘクタールの列状間伐を行っており、現地では、グラッ



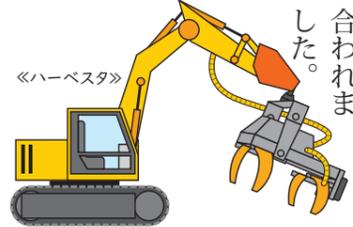
事業委員会 奈川現場視察

プル1台、スイングヤーダ1台、ハーベスタ2台、フォワーダ1台の組合所有機械が稼働していました。視察した理事からは修理経費や稼働時間に伴う作業能力の変化について質問があり、稼働時間に伴

い交換部品も多くなり、修理費用も増える傾向に有る事、油圧ポンプの能力が落ちる事により、作業効率にも影響が出て来る事など現場担当職員より説明させて頂きました。



組合では、現在17台の林業機械を所有しており(ハーベスタ3台・グラップル5台・プロセッサ2台・スイングヤーダ3台・フォワーダ4台)各種造林事業や、木材生産の現場で作業に応じて使用しています。これらの林業機械の中には導入から10年以上が経過し、稼働時間も8000時間を超えている機体もあり、機体の入れ替えも含め今後の事業計画に合った林業機械の導入整備を進めて行く事などが話し合われました。



JForestビジョン2030 検討プロジェクト始動!

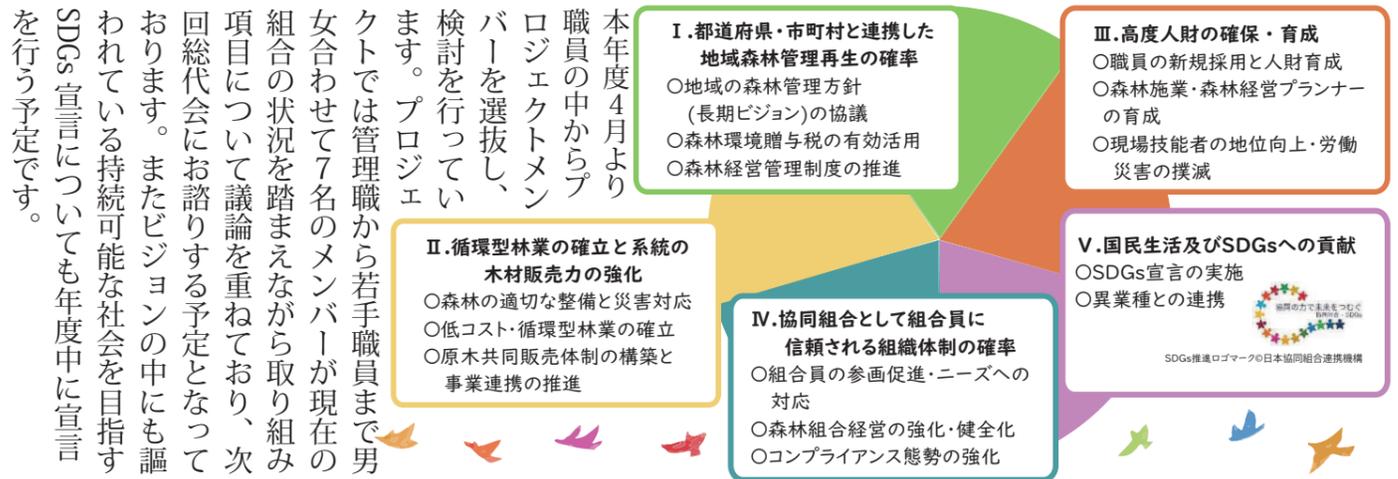
全国森林組合におきましては大会として、SDGs及び脱炭素社会実現に貢献するとともに、新しい森林・林業基本計画等に対応し、林業経営のさらなる発展に向け、新森林組合系統運動方針を決議しました。この決議に合わせるように当組合でも10年後の組合の在り方を定める、松本広域森林組合 JForest ビジョン2030、を策定すべく、

JForestビジョン2030のイメージ図

～地域森林の適切な利用・保全と林業経営のさらなる発展に向けて～ 森林環境税が広く国民から徴収される中、森林組合系統は地域の森林整備の主たる担い手として、森林環境税と税の活用と協力をし、引き続き適切な森林の利用・保全を通じて森林の物公益的機能の維持・増進を図り、SDGsの達成に貢献していく。その上で、先人たちが植えた人口林が成熟期を迎えた今こそ、系統を挙げて、持続可能な林業経営を通じて、以下の3つの課題に取り組むこととする。

- 組合員サービスの向上
- 働く人の所得向上の・就業環境改善
- 事業拡大・効率化による経営の安定

▷ 具体的な取組… 5つの項目を一体にすすめ、上記を達成する



本年度4月より職員の中からプロジェクトメンバーを選抜し、検討を行っていきます。プロジェクトでは管理職から若手職員まで男女合わせて7名のメンバーが現在の組合の状況を踏まえながら取り組み項目について議論を重ねており、次回総代会にお諮りする予定となっております。またビジョンの中にも謳われている持続可能な社会を目指すSDGs宣言についても年度中に宣言を行う予定です。